

第 1 2 回 供用期間中検査検討会 議事録

1 . 開催日時 : 平成 1 8 年 4 月 1 9 日 (水) 1 3 : 3 0 ~ 1 5 : 5 0

2 . 開催場所 : (社) 日本電気協会 4 階 D 会議室

3 . 参加者 : (順不同 , 敬称略)

□ 出席者 : 石沢主査 (東京電力) , 小田倉 (日立) , 笹田 (北海道電力) , 佐藤 (発電技研) , 東海林 (I H I) , 高柳 (東京電力) , 西田 (北陸電力) , 羽田 (GEI) , 原田 (原子力エンジニアリング) , 藤澤 (原子力安全・保安院) , 稲垣 (中部電力) , 三原田 (J N E S) , 笹原 (電中研) , 米山 (発電技研) , 綿谷 (WH) (計 1 5 名)

□ 代理出席者 : 長松 (中国電力・小林代理) , 柴山 (MHI・斎藤代理) , 田中 (電源開発・枅代理) , 白尾 (九州電力・原田代理) , 和食 (四国電力・溝渕代理) (計 5 名)

□ 欠席者 : 野村副主査 (関西電力) , 加藤 (JSNDI) , 佐々木 (日立) , 清水 (東北電力) , 師尾 (日本原電) , 成瀬 (東芝) , 新田 (富士電機) , 羽田 (丸紅) (計 8 名)

□ 常時参加者 : 島田 (海上技術安全研究所) (計 1 名)

□ オブザーバ : 宮澤 (産報出版) , 濱中 (東京電力) , 大岡 (日本溶接協会) (計 3 名)

□ 事務局 : 福原 (日本電気協会) (計 1 名)

4 . 配付資料

資料 No.12-1 第 1 1 回供用期間中検査検討会 議事録 (案)

資料 No.12-2 第 1 3 回構造分科会議事録 (案)

資料 No.12-3 JEAG4207 と NDIS0603 との関連に対する質問回答 (案)

資料 No.12-4 JEAG4207-200X 改定方針 (案)

資料 No.12-5 今後の I S I 検討会の活動予定 (案)

資料 No.12-6 東京電力 (株) 福島第二原子力発電所 3 号機原子炉再循環系配管における超音波探傷試験の欠陥判定に係る今後の対応等について (NISA プレス文)

資料 No.12-7 構造分科会平成 18 年度活動計画

5 . 議事

(1) 委員変更承認と委員出席者数の確認

事務局より、本検討会委員総数 2 8 名に対して代理を含めた本日の委員出席者数は 2 0 名で、規約上の決議の条件である『委員総数の 3 分の 2 以上の出席』を満たしていることが確認された。

(2) 前回議事録 (案) の確認

資料 No.12-1 前回議事録 (案) について、特にコメントなく了承された。また、資料 No.12-2 に基づき平成 18 年 3 月に開催された第 13 回構造分科会の審議状況が紹介された。

(3) JEAG4207-2004 と NDIS0603 との関連に対する質問回答 (案) について

資料 No.12-3 に基づき、前回構造分科会コメントを反映した修正案が提示され、審議の結果、一部エディトリアルな修正を追加することで了承された。本件は今後構造分科会委員宛に報告するとともに、ホームページ掲載、原子力規格委員会報告との手続きを実施する予定。

(4) 今後の JEAG4207 改定関連スケジュールについて

高柳委員より、資料 No.12-4, 5 に基づき、前回構造分科会提案時のコメントとして、JEAC (Code 化) 検討のこと、本文と解説の仕切りを整理することの 2 点が紹介され、今後文案作成時の留意点について以下の意見を踏まえて対応することが確認された。

- a . 規格の一部だけ活用する際の融通性を確保する。
- b . ノウハウに係わる部分で規格に適合しない場合は解説への記述とする。
- c . キャリブレーションの方法や周波数帯などはある程度のフレキシビリティを確保する。
- d . 資料 No.12-6 東京電力福島第 2 原子力発電所 3 号機における事例を踏まえた改定とする。

また、今後の予定として、以降に実施予定のアンケート実施・結果整理を踏まえて、6 月頃を目途に本文第 2 章 (一般事項) , 本文第 4 章 (配管の超音波探傷試験要領) の改定案ドラフトを作成の上、検討会で審議する予定とされた。

また、当初より実施提案されていた規格改正要望抽出のためのアンケートについては、本検討会終了後、5 月 20 日を〆切として、各委員より関係者 (団体・人問わず) 宛に依頼し、その結果を各委員が整理のうえ、事務局宛に送付することとなった。

(5) その他

1) 常時参加者の推薦

三原田委員より横山氏 (JNES) の常時参加推薦があり、出席者全員の賛成で了承された。

2) NNW (JNES 安全研究) の動向

三原田委員より、NNW (JNES 安全研究) の平成 17 年度成果の概要報告を次回検討会で行う旨の紹介があった。

3) 次回開催

次回検討会は平成 18 年 6 月 22 日 (木) に開催する予定。

以 上